

第3号様式（第10条関係）

令和 5 年 1 月 31 日

事業実績報告書

施設名 幼保連携型認定こども園 山下保育所
 住 所 延岡市山下町1丁目 7-9
 代表者名 木本宗雄



1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合 計
	3歳以下	4歳	5歳以上		
	60	20	24		104

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活 動 内 容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
環境教育	通年	園内	<p>環境教育で環境に優しい取り組みを子供達に説明しました。まず、今まで園で取り組んできた使わない電気は消す、物を大事にするなどの他にエコ活動につながることをみんなで発見し、活動に繋げていくことを目標にして、園全体で取り組むようにしました。季節のさまざまな場面を捉えて、一つひとつ理由と結果を想定し園で頑張る目標にしました。</p> <p>山下保育所の目標</p> <p>① 使わない電気は消します ② 水のだしっぱなしはしません ③ ものを大切に使います ④ 給食は残さず食べます ⑤ 生き物、植物をたいせつにします。</p>
節電	通年	園内	使用電気を下げる為に、利用しない部屋の電気をこまめに消し、窓際の蛍光灯は必要以

			上につけない。
節水	通年	園内	水の出しっぱなしにならないように使う。 (手洗いの時、うがいの時)
エコ製作	通年	園内	廃材や自然素材を使った製作遊びをする。 保育者も廃材を利用した手作り遊具作りをする。 一人ひとりの食事の状態に応じて盛り付け
給食を残さない	通年	園内	量を加減し、残さずに食べられるようにする。子どもたちには、『命』をいただいていることに感謝し、全部食べられて喜びを味合わせる。 青虫、メダカ、カマキリ、カブトムシの飼育
飼育	通年	園内	をする。昆虫やメダカの世話をすることで命の尊さや成長の喜びを感じる。
野菜の栽培	通年	園内	スナップエンドウ、きゅうり、ナス、ピーマン、ゴーヤ、大根、人参、ほうれん草、水菜、小松菜、キャベツ、ブロッコリー、西瓜等の栽培を園庭の畑(縦1m・横10m)に植えて成長を見守り収穫する。 保育者と一緒に水やりや草取り等の実践を通じ、自然にふれあう喜びを感じることができた。
花の栽培	春～夏		ジャンボひまわりを育てる。 向日葵の種を植えて、花の終わった後の種を収穫する。 調理士が園の畑で収穫した西瓜を切ってみせ、観察し食べる。
自然体験	夏		梅干し作りで、紫蘇もみ体験をする。 大根の漬物づくりを手伝う。

3 エコ宣言

- 生活の中の限りあるものを知り大切に使い、無駄をなくします
- 食材等の廃棄を減らす工夫をします
- 廃材を上手く活用し、生活の中で生かします

4 活動を終えて

指導者の感想	<p>生活の中で無駄を見直すとエコに繋がり、その解決の為に子どもの頃から関心を持たせることで、環境問題に取り組む努力をするようになっていくので、まずは私たち大人がもっと問題視して伝えていくことが大事だという事に気づきました。ゴミ分別など小さいころから習慣にすると、リサイクル化も充実して来ようと思います。まずは、できることから、子どもたちと実践してこの活動を持続させていきたいと思いました。</p>
こどもの声	<p>「保育所の畑で取れた野菜はおいしかった。」 「野菜の収穫が楽しかった。」 「お家でもプランタンに植えたよ。」 「お野菜にプールの水をかけてあげたよ。」 「畑に青虫がいて、籠に入れて葉っぱあげたら食べたよ。最後は蝶々になって、みんなでお別れしたよ。また会いにくるかな。」 「段ボールのお家作って遊んだよ。楽しかった」</p>
評価すべき事項	<p>園庭の隅っこに、縦1m、横5mの畑を作ることからしたので子供たちが興味深々で出来上がりを楽しみにしていたこと。野菜の苗植えをするときに子ども達と一緒に決め買いに行ったので、成長をいつも以上に楽しみにしていたこと。水やり、草抜き等をよく手伝ってくれた。園庭にある畑で全クラスのこどもたちが、収穫の経験ができたこと。夏野菜がたくさん収穫出来て、調理士が色々なメニューを考えて給食を作ってくれたこと。自分たちで育てた野菜なので、嫌いな子も少し食べれるようになったこと。</p>
今後の課題	<p>給食で使う野菜の廃棄部分や残菜を堆肥にした、畑の土作りをしたいので、それも子どもと一緒に勉強したいと思います。 今年の園での取り組みを来年度は、家庭でもエコ活動を意識して頂けるように園だより、クラス通信等で伝えられたらと思っています。 廃材も園だけでなく家庭にも呼び掛けていきたいと思っています。</p>

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。



・夏野菜の苗植え



・毎日、水やりをして成長観察



・梅干し作り





・向日葵の花を種から植えました。プール遊びの後の水を毎日かけて成長観察しました。



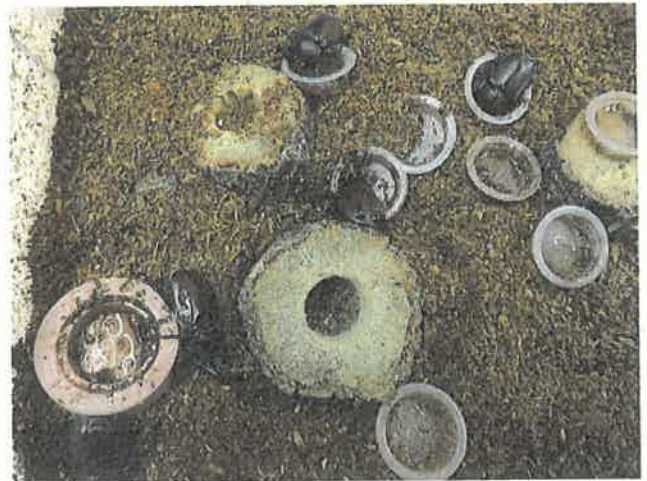
・子どもたちが育てた西瓜を収穫しました。とっても甘かったです。



・夏野菜の収穫（2歳児クラスも大きさ比べをして、喜んでいました。



・子ども達が見つけた昆虫観察 (かたつむり)



・園で毎年誕生するカブトムシ



・一坪菜園でたくさんの夏野菜を収穫しました。





・冬野菜も大きく成長しました。



・収穫した大根の葉っぱを利用し青菜のふりかけをつくりました。



・収穫した大根で“たくわん”作りのお手伝い



第3号様式（第10条関係）

令和5年1月30日



事業実績報告書

施設名 社会福祉法人スマイリングパーク
 フォルクホイスコーレ児童クラブまるの
 住所 宮崎県都城市野々美谷町2948-3
 代表者名 清水 まゆみ



1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合計
	3歳以下	4歳	5歳以上		
				38	38

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活動内容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
夏野菜を育てよう	5月下旬	学童内	子ども達と育てたい野菜を話し合い、トマトとキュウリを肥料袋で栽培し収穫して食べた。
七夕	7月	学童内	七夕飾りをチラシなどを使って作り飾りつけを行う。
牛乳パック製作をしてみよう。	8月	学童内	ボランティアの方をお呼びし牛乳パックで作るクワとトンボ作りを体験する。
奉仕作業	8月~11月	園庭	・園庭の草取りや池のそうじ、落ち葉拾いを行う。
どんぐり製作	9月	学童内	・園庭で拾ったどんぐりを使いトコを作った。
氷を作ってみよう	1月	学童内	・ポリンカップを利用して色水に使わなくなったおり紙や穴あけパンチの紙などを入れて氷を作った。
肥料を作ろう	通年	学童内	麦茶のパックを捨てずに、土の中に入れて肥料を作った。次回は、この土を使って何か栽培したいと思っている。
ダンボールあそび	通年	学童内	ダンボールを使って自由に製作等を行った。
牛乳パックあそび	通年	学童内	牛乳パックを使ってサークルを作ったりしてあそんだ。

3 エコ宣言

- 何でも捨てずに使える物はリサイクルし大切に使います。
- 自然の恵みに感謝します。
- 節電・節水を心がけます。

4 活動を終えて

指導者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・市貝反の玩具だけではなく、空き箱やダンボールなどの廃材あそびを気に入る子どもが多く、作った物を大切に使う中で、物を大切に使えるようになってきた。 ・実践をしていく中で身近に感じる事ができた。
こどもの声	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんでエコ活動に参加していた。 ・他のエコ活動もしてみたい
評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ物を大切に使えるようになってきた。 ・色々な事を考え、想像し製作をするようになった。 ・意欲的に取り組んでいた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居を使って、子ども達に伝えていく。 ・地域でもできる、エコ活動にも取り組んで行きたい。 ・家庭でも協力してもらい色々なエコ活動を広めて行きたい。

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。

夏野菜を育てよう!!



牛乳パック製作してみよう!!



奉仕活動



どんぐり製作



氷を作ってみよう!!



段ボール遊び



牛乳パック遊び



製作・ごっこ遊び



第3号様式（第10条関係）

令和 5年 1月 31日



事業実績報告書

施設名 天岩戸保育園

住所 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字岩戸 4518 - 2

代表者名 菊池京子



1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合計
	3歳以下	4歳	5歳以上		
	34	14	12	12	60

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活動内容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
野菜作り (食育)	春から秋	園内 近隣の田んぼ	・年少から年長児で野菜や米の栽培、種まき・苗植えから観察や収穫を行うことで、食べ物の大切さを学び、好き嫌いを減らすことで食品ロスを減らすことができるということを学んだ。
リサイクル活動	通年	園内	・牛乳パックや空き箱やトレーを活用した工作を行う。
リユース活動	通年	園内	・年長児で古着の使い捨てふきんとして再利用し、自分たちにもできる水質環境改善を知る事ができた。
環境教育 清掃活動	通年	園周辺	・散歩の際ゴミを拾いながら歩き、住む町を大切にすることを学んだ。
環境保全アドバイザーの活用	11月	近所の総合公園	・親子遠足に環境保全アドバイザーを招き、保護者と一緒にネイチャーゲームを行う。楽しんで参加する姿があり、環境について親子で考えるきっかけとなった。
活動発表	2月	園内	・子ども達が感じたことや活動の様子をまとめ、園内掲示や参観日に保護者に向けて発表する場を設ける。

3 エコ宣言

- 食べ物を残さないようにします。
- 壊れたものは修理したり、大切にものを使います。
- お家でも自分たちにできるエコ活動を行います。

4 活動を終えて

指導者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然と保育の中に取り入れて行うことができ、エコ活動は保育の中で取り入れやすい題材だと改めて感じた。 ・ 頂いた紙芝居などの教材がとても役に立ち、子ども達の興味関心を引き出す良いきっかけとなった。 ・ 1年間を通して様々な活動の中で、子ども達からも自然と「SDGs」という言葉が出るといった環境やエコ活動に対する意識付けができた。
こどもの声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の中で「残したらもったいない」という言葉が出るようになり、残さず完食したり、食べる前に自分が食べられる量を考え、減らしてもらう姿が見られるようになった。 ・ 古着を切って皿拭きを作成する体験では、最初「服がかわいそう」と戸惑う姿があったが、リユースの大切さを伝える事で意欲的に活動を行う事ができた。 ・ 散歩時にゴミ拾いの経験をした事で、ゴミに気づき拾ってきて「ゴミが落ちてた！」と行動するようになった。
評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠足時に講師の先生より出前講座を行って頂くことで、保護者の方々に対し子ども達と一緒に環境について考えるきっかけづくりを行うことができた。 ・ 保育士自身が、エコ活動や SDGs に対して難しく考えずに、保育に取り入れる事ができるようになった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度できなかった活動や、家庭や地域への働きかけを次年度行っていきたい。 ・ 以上児のみならず、様々な年齢のクラスでできる活動を更に取り入れ、園全体での意識を今以上に高めていきたい。

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。



天岩戸保育園(野菜の収穫・カレー作り) ②



天岩戸保育園(米刈り)



天岩戸保育園 (散歩のゴミ拾いの様子)



天岩戸保育園 (古着を切り紙作り)



夫岩戸保育園(廃材を使った風鈴制作・お店づくり) ①



天岩戸保育園(廃材を集めた風鈴制作・お店やさんごっこ)②



第3号様式（第10条関係）

令和 5年1月28日



事業実績報告書

施設名 本郷児童館

住所 宮崎市大字本郷北方4029-6

代表者名 中原 由衣



1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合計
	3歳以下	4歳	5歳以上	70	80
	10				

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活動内容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
食育 野菜作り	通年	館内・畑	・1年を通して季節ならではの野菜を育てた。スナップエンドウ、ゴーヤ、大根、じゃがいも、さつまいも。種や苗から育て、水やりや収穫を行った。食の大切さを実感した。
リサイクル活動	1月	館内	・小学生を対象に牛乳パックを使い、めんこ作りを行った。
清掃活動	8月 12月	館内	・館内の窓拭きを新聞紙を使い、小学生が行った。新聞紙で掃除できる事を初めて知る子どももいた。
環境教育	8月	館内	・大淀川学習館の出前講座で、生き物について教えて頂いた。子どもたちは生き物に興味津々の様子でした。 ・気象予報について、講師を招き天気に関する小学生向けの講話をしていただいた。

3 エコ宣言

- 食べ物は、残さないようにする。
- ものを大切に使います。
- 自然をきれいにします。

4 活動を終えて

指導者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ活動を少し難しく考えていた部分もありました。児童館での取り組みを挙げてみました。様々な行事でエコ活動に繋がっていることに改めて知ることもできました。 ・普段、小さなことから子どもたちに伝えていくことで、少しでも意識して欲しいなと思いました。
こどもの声	<ul style="list-style-type: none"> ・大根を収穫した際、「大根の葉も食べれるんだ」と、初めて知る子どもがいた。 ・清掃活動後、子どもたちから進んで清掃に取り組んでくれるようになった。
評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなこともエコ活動なんだと知り、自分たちから進んで行うようになった。 ・エコ活動を楽しく実践できた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居などを使って、分かりやすく子どもたちに伝えていく。 ・日頃児童館を利用している子どもたちが、初めて児童館を利用する子どもに教えていき、どんどん広めていきたい。

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。

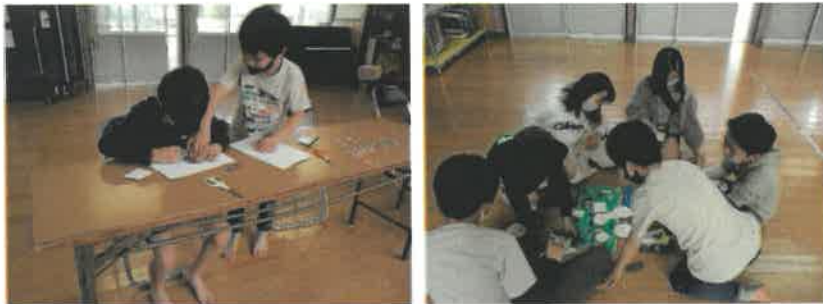
宮崎県こどもエコチャレンジ推進事業実施

事業実績報告書

食育・野菜作りの様子



リサイクル活動の様子



清掃活動の様子



環境教育の様子



第3号様式（第10条関係）

令和5年2月3日



事業実績報告書

施設名 一般社団法人HUG

住所 宮崎県小林市真方212-1

代表者名 井手口 敏朗



1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合計
	3歳以下	4歳	5歳以上	53	53
	0	0	0		

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活動内容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
リサイクル活動	毎日	施設内	・地域や各家庭からペットボトル、空き缶、ダンボール等のリサイクル品の回収を行い子どもたちと支援員で分別作業を実施した。
ペットボトル工作	月1・2回	施設内	・ペットボトルを使って、風鈴やリハーバリウムなどを作った。
節電・節水	毎日	施設内	・使用していない部屋の電気、水の出しっぱなしを日頃から声かけし意識付けさせている。
保護者説明	通年		・リサイクル品の分別方法を保護者へ通知し、リサイクル品の回収状況や活用品について通信アプリ（LINE）などで保護者に連絡した。

3 エコ宣言

- ものを大切に使おう！
- 再利用可能な物を自分で見つけ出そう！
- 地球の資源には、限界があることをみんなで理解しよう！

4 活動を終えて

指導者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・エコについて子どもたちに伝えるのは難しいと感じていたが、エコ活動を子どもたちと一緒に取り組むことで、私達も子どもたちとエコについて考えることができた。 ・リサイクル活動で集めたものを活動費に変えて、折り紙や画用紙を購入し、ものの大切さやリサイクルについて子どもたちにも伝えることができた。
こどもの声	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと施設外活動へ行った時などに、子どもたちが自らゴミ拾いをする姿が見られるようになった。 ・週1回の5S活動を通して、自分たちから積極的に活動に取り組む姿が見られるようになった。 <p>また、ペットボトル等のリサイクルを行うことで、以前は折り紙などの無駄使いが多かったが、物を大切に使うことができるようになってきている。</p>
評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル物を使い、子どもたちそれぞれが工夫して、工作などに取り組むことができています。 ・定期的にエコに関する活動を行うことで、全員が日頃からエコを意識するようになった。 ・リサイクル品を用いて活動で使うおもちゃなどを自分たちで作り、できあがった物で活動することで、楽しく頭を使いながら活動に取り組むことができています。

今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・今回、実施したことを継続し、普段から節電・節水に取り組み、資源を大切にできるようにする。 また、エコについて体感できる取り組み(リサイクル品の回収施設の見学や自然に触れ合う)を取り入れていきたい。・苗木を自分の記念樹として植林させることで自然の循環の大切さを学ばせる機会をつくる。・分別のしかたを体験した子どもが家に帰り、家族と一緒にリサイクル活動ができるようにし、エコ活動の輪を広げていきたい。
-------	---

* 補足資料(写真等)があれば添付してください。



第3号様式（第10条関係）

令和 5年 1月 29日

事業実績報告書

施設名 社会福祉法人朝日福祉会 朝日保育園
 住 所 小林市水流迫845番地
 代表者名 坂下 栄子



1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合 計
	3歳以下	4歳	5歳以上		
	23名	7名	8名		

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活 動 内 容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
環境教室	5月	園内	・4、5歳児を対象に「なぜなにSDGS」の絵本を通して、“食べ物を残したらダメ”“物を大切にしよう”と子どもたちなりに理解していた。
清掃活動	通年	園周辺 園内	・散歩をしながら園周辺のごみ拾いをした。 お菓子の袋など拾うことで、「ごみ箱に捨てるんだよね」「お家にもって帰るんだよね」と話をしながら、ごみを捨てたらいけないということを理解し、登降園時ごみが落ちていたら子どもたちから拾って持ってくるようになった。 ・分別のポスターや分別しやすいように、ごみ箱にラベル張ることで、子どもたちも見ながら捨てていた。 ・4、5歳児が夕方、分別ごとに集め、分別して捨てることは環境に優しいと認識していた。
リサイクル工作	通年 2, 3月	園内	・家庭から不要になったトレー、牛乳パック、卵の殻などを回収し、リサイクル工作を行った。 ・卒園記念製作予定（卵の殻を利用して）

野菜・米作り お手伝い	通年	園内	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜栽培や収穫、田植えを行いお米ができるまでの体験活動。 ・米は空きのペットボトルで脱穀。子どもたちと近くの精米機で精米。お米ができるまでを体験やお世話や収穫することで、「水」「食べ物大切さ」「食べ残しはいけない」等友だち同士で話をしていた。
園だより発行			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの取り組みや家庭でもできる事を園だより等で紹介することで、「家でもできる事から始めました」と声が聞かれた。
活動発表	3月	園内	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で参観日や発表会など人数制限することで発表する機会がなかった。 ・子どもの活動内容をまとめ図式化し、掲示・文書配布予定。 ・お別れ遠足や卒園式後に発表できる機会が設けられたらと考えている。
友だちと遊ぶ (みんなに優しく、仲良く)	通年	園内外	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな平等 <p>友だちと遊ぶことは、自分と他人は違ういろいろな人がいる</p>

3 エコ宣言

- 身の回りの物を大切に使います (物を大切に)
- もったいないをなくす (食べ物は残さずに食べます)
- 水は出しっぱなしにしません (水の無駄使いはしません)

4 活動を終えて

指導者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもを育てる立場として、子どもの未来が明るく豊かなものになるよう自分事として「何が出来るのか」考え行動に移さないといけないと感じ子どもと一緒に取り組むことにした。 ・自分がやっていることがどういう意味があるのかを知ることはとても大切で「できる事から少しずつ取り組める」ことを話し合い取り組むことで、話し合う前と比べると「水だしっぱなしだよ」「大切に使うね」等と同じことを言っても納得感があり、「お水はどうするんだっけ」「もったいないね」等と声を掛けに変わり、子どもたち同士でも声を掛け合う姿が見られるようになった。 ・すべての人が取り組む必要があり、私たちの身近な生活の中で協力できる取り組みも多いと思うので、園全体でSDGsについて共通理解
--------	---

	<p>し取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでできる事は何か？難しく考えず、目の前にある事を実行する、それを取り組んでいけばいいという事を実感し一人ひとりが意識することが大切だと思いました。 <p>コロナ禍で子どもたちの活動内容を発表する機会がなかったので、今後は発表の場を設け、子どもの活動を通して、園と家庭が一緒になり「できること」を少しずつ増やしていきたい。</p>
こどもの声	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や駐車場にごみを捨てたらいけないんだよね。ちゃんと分けて捨てるんだよね。 ・食べられない人もいるから、残さないでついているのは集まれしてきれいに食べるんだよね。 ・水の出し過ぎは水が無くなる。 ・洗濯物をたたんだよ。 ・この服は〇〇にもらったんだよ。 ・おやつで出て空き容器（空き箱）をみて「これで何か作れんじゃない」等と子どもたちからアイディアがで始めた。
評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・節水：手洗い時水を止めて洗う。子ども同士で声を掛け合ったりするようになってきている。水の出しすぎに気を付ける姿もある。 ・畑に野菜等を栽培することで作る人の大変さを知り、残さずに食べる「もったいない」が芽生えてきている。 ・玩具や絵本等の取り扱いについては、その都度「どうしたらいい」と声掛けし考えさせたりしている。 ・物が豊富で簡単に手に入り、物を大切にすることが難しい ・友だちとの嫌がる事をする、言ったりする。 <p>みんな平等、優しくするのはこれからも取り組んでいく。</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの取り組みについて知らない人もたくさんいると思う。 <p>自分が知っている事や園児と日常取り組んでいることを知ってもらうために、保護者や地域の方に情報発信や活動内容を発表する場を設け、少しでも関心を持っていただき、園を中心に自分でできる簡単な事から始められるよう活動の場が広がってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物を大切にする」働きかけは、子どもだけでなく保護者への働きかけが必要。 ・SDGsについて職員間の共通理解もと、園の目標に向けて子どもたちと一緒に取り組みながら違う簡単な取り組みにも挑戦していきたい。

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。

朝白保育園 ①



木の葉やかわれ葉で絵をかき様子。



色紙コップのおもちや。



とうもろこしむき



ペットボトルでだっこ.



牛乳パックで作ったぞう.



牛乳パックの羽小板



10-10-花のカエル



廃材 あそび



ひまわりの背景の茶色の紙に道具をつんでいった色紙紙



卵のカラーアート

令和 5年 2月 1日



事業実績報告書

施設名社 社会福祉法人 ひかり福祉会 かたひら放課後児童クラブ
 住 所 宮崎県都城市志比田町 7182-1
 代表者 理事長 吹上 環



1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合 計
	3歳以下	4歳	5歳以上	23	23

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活 動 内 容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
リサイクル活動	通年	児童クラブ内	不要になった牛乳パック、お菓子の箱、ダンボールなどで工作を行った。牛乳パックを使った、かご、うちわ、万華鏡、クリスマスツリー、節分用鬼。ダンボールや空き箱で動くおもちゃを作った。
児童クラブ だよりの発行	通年	家庭	児童クラブだよりを通して、毎月のエコ製作やエコ活動の取り組み状況を紹介した。
清掃活動	通年	児童クラブ周辺 児童クラブ内	園庭やクラブ内に落ちているゴミを自分から進んで拾う。ゴミの分別を子どもたちで行う。
お米作り	7月	児童クラブ内	バケツで稲を育て、稲作を学び、稲の成長、収穫の喜び、食の大切さを学んだ。
環境教育	8月	児童クラブ内	グループに分かれてゴミ分別ゲームを行い、ゴミの分別とリサイクルについて学ぶことができた。
活動発表	2月	児童クラブ内	これまでに取り組んできたことや子どもたちが感じたことをまとめて発表する。

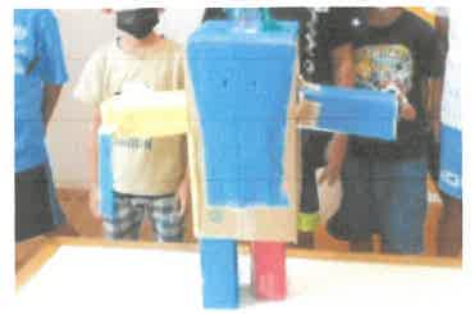
3 エコ宣言

- ゴミのポイ捨てはしません
- 不要になっても、また利用できる物はリサイクルします
- 電気や水の無駄使いはしません

4 活動を終えて

指導者の感想	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが楽しんでエコ活動に取り組んでくれた。・集めた廃材を利用して、こどもならではの発想で毎月製作を行い活用し、不要になった物の大切さを改めて実感した。・子どもたちと環境について調べ、ゴミ分別カードを作り、グループでゴミの分別について考え、話し合い一生懸命取り組んでくれた。
こどもの声	<ul style="list-style-type: none">・日常生活の中で、落ちていたゴミを拾ってきて「ゴミが落ちていた」や、水が出ていたら「水が出ている」と気付いて止めるようになった。・廃材を使って「これ作ったよ」と製作したものを嬉しそうに見せてくれた。
評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none">・活動が習慣化し、子どもたちが自ら進んで取り組むことができた。・電気の消し忘れや、水の出っぱなしの際、子どもたちどうして教え合い自分たちで進んで行うようになった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・エコ活動に関心を高め、これからも取り組みを継続していきたい。・子どもたちの取り組みを知らせていき、家庭や地域でも意識的に取り組んでいけるよう働きかけていきたい。

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。



ダンボールで動くおもちゃ製作



ゴミ分別ゲーム



廃材



牛乳パック製作



新聞紙で作ったゴミ袋



牛乳パックでクリスマスツリー

令和4年度

かたひら放課後児童クラブ

第3号様式（第10条関係）

令和 5年 2月 1日



事業実績報告書

施設名 都城社会福祉協議会 おおむたこども園
 住 所 都城市高崎町大牟田 2093-25
 代表者名 山元紀代美 印

1 施設の概要

こどもの数	未就学児			就学児	合 計
	3歳以下	4歳	5歳以上		
	43	18	11	0	72

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活 動 内 容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
清掃活動	通年	散歩コース	散歩に行くときは、ゴミ袋を持ち、拾いながら歩く。
リサイクル	毎月	園内	毎月リサイクルの日には、家庭にも呼びかけ子どもと一緒に分別することで意識して取り組めるようになる。 また、廃材を使つての製作を子どもたちも日々工夫して作っている。 運動会では、テーマをSDGSにし、親子でリサイクル玉入れをして、缶とペットボトルの分別玉入れで競い、盛り上がった。
菜園活動	通年	園内	季節に合った作物（ピーマン、レタス、スナップエンドウ、さつま芋、じゃがいも、トマトなど）を地域の農園の方と一緒に植え、育て、園の外でたき火をしながら食べる。また、園で出た、野菜の皮は、育てている、うさぎに食べさせている。 発表会でも年長が菜園の様子を劇にして保護者に見てもらおう。

3 エコ宣言

- 節電を心がけよう
- 天気のいい日は外で遊びます
- ごみの分別、リサイクルに興味を持ちます

4 活動を終えて

<p>指導者の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何気なく取り組んでいるよりも、一つ一つ説明し、絵本の読み聞かせをすることでリボベジ、リサイクルに取り組むことで子どもたちの意識が変わってきたのが分かった。 ・SDGS をテーマに行事を行うことで、今世界が取り組んでいることに触れることができた。 ・子どもたちに見えるように野菜を育て、調理し食べるところまで実践することで分かりやすく伝えることができた。
<p>こどもの声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「これどっちのごみ？」と分別を意識するようになった。 ・野菜を植え、育てていく過程を見て苦手な野菜を食べてみようとする。 ・イルカランドへ行く前に、海ガメがごみを飲み込んで死んでしまう話をした…「ごみを捨てて海に流れたら生き物が死んじゃうね」と実際に見ることで伝わることもあった。 ・散歩に行った先でごみを拾って自ら行動できるようになった
<p>評価すべき事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに分かりやすく伝えるには、大人がまず調べ、学ぶことができた。 ・家族も巻き込んでリサイクル活動をすることが親子で取り組むきっかけになった。 ・子どもたちが意識して自主的に考え、行動できるようになってきた。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このリサイクル活動を継続していく。 ・コンポストの利用も考えていきたい。 ・野菜のリボベジの時期を考慮して取り組んでいく。まだまだリサイクルについて学んでいきたい。

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。

菜園活動



スナップエンドウ収穫



豆苗



さつまいも苗植え



ブロッコリー



ほくろの園には かまどがあります



しゃがみが
たれーライスに☆



水かけは、2歳児から
一緒に!!



おおきなれい



ピーマンよにがてたけ
たべたよー



梅干し、梅シロップの
へたを取ります!



冬はたき火でおにた利ながら
収穫した さつまいも いただきます!

あそびの中にも エコがいっぱい!!



庭のお花で 色水あそびコーナー



牛乳パックのサークル



「馬は、エセ城の方が作ってくれました!!」



雨が降った後の
園庭は最高の遊び場

わんぱくフェスティバル(うんどうかい)のテーマ
SDGs



リサイクル玉入れは
缶とペットボトルの分別で
親子で競いました!

園庭には、木がたくさん!



暑い日は木陰で...
木の実や葉、ほいでたくさん
遊べます!!
外遊びは最高のエコ遊び!!

リサイクル



木の葉を集めて裏へ → 腐葉土にします

